

**Dr.EDISON**

# Dr. EDISON



## 非接触赤外線体温計 900

管理医療機器

医療機器認証番号 第227AFBZX00107000号

## 目次

1. はじめに	3
2. 『非接触赤外線体温計900』の活用法	3
3. 製品概要	4
4. 使用上の注意	5
5. 禁忌・禁止	6
6. 電源及び設定	7
7. 使用方法	8
8. トラブルシューティング	11
9. 電池交換	12
10. 製品仕様	13
11. 洗浄及び保管	15
12. EMC ガイダンス	16
13. 保証	19

## 1. はじめに

- ▶ 「非接触赤外線体温計 900」（以下本品）は、正確な体温を安全に非接触で測定する赤外線体温計です。
- ▶ 本品は体温のほか、浴温、哺乳瓶の温度等を簡単に測定することができます。
- ▶ 本品は、直腸、耳式その他の接触式体温計の使用によりまれに生じる、不快症状や皮膚炎症のリスクを低減します。
- ▶ 測定に要する時間は約1秒以内で、32件のデータを保存します。

## 2. 『非接触赤外線体温計900』の活用法

体温測定：本品を体温計モードに設定し、こめかみ部から2～3cmに近づけて体温を測定します。

温度測定：本品を温度計モードに設定し、測定したいものから2～3cmに近づけて温度を測定します。本品に水がかからないよう、注意が必要です。

※ 体温を測定する以外の測定は、すべて温度計モードで測定します。

※ 温度を測る際は、内部温度ではなく表面温度を測定しますので、特にミルクや浴温、離乳食等はよくかき混ぜてから測定してください。

### 3. 製品概要



- 1 液晶ディスプレイ
- 2 スタートボタン
- 3 ミュートボタン

- 4 モードボタン
- 5 メモリーボタン
- 6 ストラップ孔

- 7 センサー部
- 8 バッテリーカバー

#### ボタン

#### 機能

**スタート**

電源投入及び測定に使用する。

**ミュート**

音発生の切替えに使用する。

**モード**

電源投入及びモード切替えに使用する。

**メモリー**

メモリ参照に使用する。(最大32件)

#### 画面表示



体温計モード使用時



温度計モード使用時



メモリー参照時



バッテリー残量少

## 4. 使用上の注意

### 【重要な基本的注意】

- ▶ 破損又は故障した場合には使用を中止し、販売店等を通じて修理依頼をしてください。
- ▶ 改造及び修理はしないでください。本品の修理は認定を受けた技術スタッフに限られます。また改造による破損や故障は保証対象外となります。
- ▶ 長期間使用しない場合は、電池を外し、本品を安全な場所で保管してください。
- ▶ 本品のセンサー部は傷つき易いため、汚れや傷の無い状態を維持してください。
- ▶ 直射日光を避け、ほこり又は汚染の無い場所で保管してください。
- ▶ 付属のストラップは、お子様の手の届かないところに保管してください。ストラップにより、窒息などの事故を引き起こす可能性があります。

### 【使用方法に関連する使用上の注意】


- ▶ 小児や乳児を測定する場合はしっかりと抱き、動かないようにしてください。動くことによって測定結果に精度を欠く場合があります。
- ▶ 測定は温度が安定した屋内で行ってください。同様に被測定者も安定した温度で、十分に慣らしてください。
- ▶ 室内でも扇風機、温風機、エアコンなどの空気の流動を起こす機器が作動している部屋では、測定の結果に精度を欠く場合があります。
- ▶ 発汗した状態、運動の後、雨天時、帰宅直後、シャワーの後等では、測定の結果に精度を欠く場合があります。
- ▶ 正確な測定のために、髪、化粧、異物等は取り除いてください。
- ▶ こめかみ部で測定を行ってください。測定部位によって表示温度は異なります。
- ▶ バッテリー残量が少ない場合は、測定の結果に精度を欠く場合があります。新しいバッテリーに交換し、再度測定を行ってください。
- ▶ 使用する環境が16~40℃でない場合は、16~40℃の環境下で30分ほど置いてから使用してください。
- ▶ 測定完了音が聞こえるまでは、本品を測定部位から動かさないでください。ミュートモードで測定する場合は、約1秒間その位置を維持してください。
- ▶ 授乳中または授乳直後は、測定を行わないでください。
- ▶ 過度に湿度が高い環境下では、使用しないでください。

## 5. 禁忌・禁止

- ▶ 本製品を水その他の液体に浸さないでください。
- ▶ 落としたり強い衝撃を与えないでください。
- ▶ 本体の先端に異物を挿入しないでください。
- ▶ -20℃以下や50℃以上、93%HRを超える環境下で保管しないでください。

## 6. 電源及び設定

本品の **スタート** または **モード** ボタンを短く押します。

- 電源を入れた後、2秒後に使用準備状態であることを表示します。
- 本品は電源を入れたら、まず体温計モードになります。 

### 6-1. 音発生の設定

- 初期設定は、音が出るモードになっています。
- 音が出ないようにしたい場合は、**ミュート** ボタンを短く押します。
- ボタンを押すたびに、発音/ミュートが切替ります。
- ボタンを押して液晶ディスプレイに **On** が表示された場合は、音がします。
- ボタンを押して液晶ディスプレイに **OFF** が表示された場合は、音はしません
- この設定は保存されます。次回電源を入れた時は、前回設定したモードになっています。



## 7. 使用方法

### 7-1. 体温計モードによる体温測定

- ① 本品の **スタート** または **モード** ボタンを短く押して、電源を入れます。  
 ・電源を入れてから、2秒後に使用準備状態であることを表示します。

- ② 液晶ディスプレイで、使用準備状態であることを確認します。



- ③ こめかみ部から2～3cm 離れたところで固定し、**スタート** ボタンを短く押します。



**Site of measurement recommended is the temple area**

- ・測定完了音が聞こえるまで、距離を維持します。
  - ・ミュートモードの場合は、約1秒間その位置を維持します。
- ④ 液晶ディスプレイで測定した温度をチェックします。測定結果は自動的に保存されます。



⑤ 表示される測定結果によって、バックライトが発光します。

・LED の発光は、2, 3 秒後に自動的に消えます。

－ 2 色の LED 発光 －

緑: 正常な測定結果 (37.9℃ 以下)

赤: 測定結果が測定温度範囲外の場合 (Hi または Lo を表示)

周囲温度が周囲環境外の場合 (L16, H40 を表示)

⑥ 測定結果が 38℃ を超えた場合。

・発熱アラームで、発熱状態であることを知らせます。

・測定温度が 38℃ を超えた場合は、赤のバックライトが発光します。

## 7-2. 保存した測定結果の表示

① 本品の **スタート** または **モード** ボタンを短く押します。

・電源を入れてから、2秒後に使用準備状態であることを表示します。

② 本品は、自動的に32件の体温測定結果を保存します。

③ **メモリー** ボタンを短く押します。

・最新の測定結果が表示されます。



④ **メモリー** ボタンを押すたびに、次の最新データを呼び出します。

ディスプレイに表示される番号は、それまでに測定した回数を表示します。

⑤ 本品は、体温計モードによる測定結果のみを保存します。







### 7-3. 温度計モードによる温度測定

- ① 本品の **スタート** または、**モード** ボタンを短く押して、電源を入れます。
  - ・電源を入れてから、2秒後に使用準備状態であることを表示します。
- ② **モード** ボタンを短く押して、温度計モードに切り替えます。  
液晶ディスプレイで、使用準備状態であることを確認します
- ③ 測定位置から 2～3cm 離れたところで固定し、**スタート** ボタンを短く押します。
  - ・測定完了音が聞こえるまで、距離を維持します。
  - ・ミュートモードの場合は、約1秒間その位置を維持します。
- ④ 画面上の温度を読み取ります。
  - ・温度計モードによる測定結果はメモリに保存されません。



## 8. トラブルシューティング

### エラー表示

表示	エラーの内容	対処法
	周囲の温度が40℃を超える又は16℃未満の時に表示されます。	本品を16℃～40℃の環境下に30分ほど置いてから使用してください。
		
	測定温度が表示温度範囲より高い時に表示されます。	体温の測定範囲は22.0℃～42.5℃の範囲です。物体の温度測定範囲は0℃～100.0℃の範囲です。
	測定温度が表示温度範囲より低い時に表示されます。	同上。
	バッテリーの残量が少なくなった時に表示されます。	電池を新しいものと交換してください。
	電池を交換した時と、電源を入れた時に、少しの間表示されます。	

## 9. 電池交換

- ① 本品は単4形アルカリ乾電池を2本使用します。
  - ・ 本品裏面のバッテリーカバー ①を押しながら ②へスライドさせ、開けます。
- ② 使用済みの電池を取り出します。
- ③ 新しい電池に交換します。
  - ・ この時、電池の極性を確認します。
- ④ バッテリーカバーを閉じます。
  - ・ 使用済みの乾電池は、各自治体の指示に従って正しく廃棄してください。



しばらくの間使用せず、電池を外すときの注意

- ・ 3か月以上の長い間使用しない場合は、電池を取り外してください。  
液漏れによる故障を引き起こすことがあります。
- ・ 本品は、 $-20^{\circ}\text{C}$ ～ $50^{\circ}\text{C}$ の範囲内で、保存してください。

## 10. 製品仕様

項目	説明
測定方式	赤外線測定、非接触測定
表示温度	実測及び補正温度
基本機能	多機能測定(体温、温度)、メモリ機能、発音制御(on/off)
周囲温度範囲	16~40℃、湿度15~93%
保管温度	-20℃~50℃、湿度15~93%
測定部位	こめかみ部
測定距離	こめかみ部から2~3cm離れた位置から測定する
表示温度範囲 最大許容誤差	体温計モード: 22.0~42.5℃ ±0.2℃(36.0~39.0℃) ±0.3℃(22.0~35.9℃、39.1~42.5℃) 温度計モード: 0.0~100.0℃ ±1.0℃(15~60℃) ±3.0℃(0~14.9℃、60.1~100.0℃)
最小表示単位	0.1℃
モード選択	体温計モード、温度計モード
メモリー機能	自動メモリー機能、メモリーボタンを使用して測定結果のチェック、メモリー保存最大32件
音	操作音、測定音、測定完了音、 ミュートボタンで、発音/ミュート切替えが可能

項目	説明
画面	液晶ディスプレイ
表示	体温計モード、温度計モード、メモリ機能、バッテリー残量少、 ℃(単位)、エラー表示(L16、H40、Hi、Lo)
ボタン	スタート、ミュート、モード、メモリ
バックライト機能	測定後3秒間点灯、自動消灯
省電力機能	本品は使用後約1分で自動的に電源が切れます。
構成品	本体(1)、添付文書(1)、取扱説明書(1)、単4形乾電池(1)、ストラップ(1)
定格電源電圧	直流電源 3V(単4形 1.5V 乾電池2本)
測定回数	5,000回以上
サイズ	152mm(W) x 36mm(D) x 37mm(H)
重量	68g(乾電池含まず)
製造元、国名	HuBDIC CO.,LTD、大韓民国

## 【機器の分類】

- ▶ 電撃に対する保護の形式による分類: 内部電源機器
- ▶ 電撃に対する保護の程度による分類: BF形装着部

## 11. 洗淨及び保管

- ▶ 本品のセンサー部は傷つき易いため、汚れや傷の無い状態を維持してください。
- ▶ センサー内に、いかなる異物も挿入しないでください。
- ▶ センサー部を清掃する場合は、メチルアルコールを含ませた綿棒で、センサー部の表面を注意深く清掃してください。
- ▶ 直射日光を避け、ほこり又は汚染の無い場所で保管してください。
- ▶ 本品は、室温で保管してください。適切な周囲温度は16～40℃です。
- ▶ 室温で保管されていなかった場合は、16～40℃の環境下で30分ほど置いてから使用してください。



## 12. EMC ガイダンス

### EMC (電磁両立性) とは

EMC (電磁両立性) とは、次の二つの事項を満たす能力のことです。

- ・ 周囲の他の電子機器に、許容できない障害を与えるようなノイズを出さない。(エミッション)
- ・ 周囲の他の電子機器から出されるノイズ等、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。(イミュニティ)


### EMC (電磁両立性) にかかわる技術的な説明

医用電気機器は、EMCに関して特別な注意を必要とし、次に記載するEMCの情報に従って使用する必要があります。

- 注意**
- ・ 本機器は電磁両立性 (EMC) に関して、特別な注意が必要であり、EMCガイダンスに記載された EMC 情報に基づいて使用しなければならない。
  - ・ 携帯及び移動無線周波(RF)通信機器により本機器は影響を受けることがある。
  - ・ 本機器は、他の機器に密着させたり、重ねた状態で使用しないこと。

ガイダンス及び製造業者による宣言 - 電磁エミッション			
非接触赤外線体温計 900は次に指定した電磁環境内での使用を意図している。 非接触赤外線体温計 900の顧客又は使用者は、そのような環境内でそれが使用されることを確認することが望ましい。			
エミッション	試験	適合性	電磁環境 - ガイダンス
RF エミッション CISPR 11		グループ 1	非接触赤外線体温計 900は、内部機能のためだけにRFエネルギーを使用している。従って、そのRFエミッションは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RF エミッション CISPR 11		クラス B	非接触赤外線体温計 900は、家庭用施設及び家庭目的に使用される建物に、電力を供給する公共の低電圧用の配線網に直接接続された施設を含むすべての施設での使用に適する。
高周波エミッション IEC 61000 -3-2		非適用	
電圧変動/フリッカ エミッション IEC 61000 -3-3		非適用	

ガイドダンス及び製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ			
非接触赤外線体温計 900は次に指定した電磁環境内での使用を意図している。 非接触赤外線体温計 900の顧客又は使用者は、この様な環境内で使用されることを確認することが望ましい。			
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイドダンス
静電気放電 (ESD) IEC 61000 - 4-2	±6 kV 接触 ±8 kV 気中	±6 kV 接触 ±8 kV 気中	床は木材、コンクリート 又はセラミックタイル であること が望ましい。 床が合成材料で覆われ ている場合、相対湿度は 最低 30 %であることが 望ましい。
電氣的ファースト トランジェント/ バースト IEC 61000 - 4- 4	±2 kV 電源ライン ±1 kV 入出力ライン	非適用	非適用
サージ IEC 61000 - 4- 5	±1 kV ライン対ライン間 ±2 kV ライン対接地間	非適用	非適用
電源入力ラインで の電圧ディップ、 短時間停電及び電 圧変動 IEC 61000 - 4- 11	<5% UT ( >95% UTのディップ) 0.5サイクル間 40% UT ( 60% UT のディップ) 5サイクル間 70% UT ( 30% UTのディップ) 25サイクル間 <5% UT ( >95% UTのディップ) 5秒間	非適用	非適用
電源周波数 ( 50 / 60 Hz )磁界 IEC 61000 - 4- 8	3 A/m	3 A/m	電力周波数磁界は、典型 的な商用又は病院環境 内の典型的な場所での レベルにあることが望 ましい。
備考 UT は、検査レベルを加える前の交流電源電圧である。			

ガイドンス及び製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ			
<p>非接触赤外線体温計 900 は次に指定した電磁環境内での使用を意図している。                      非接触赤外線体温計 900 の顧客又は使用者は、このような環境内で使用されることを確認することが望ましい。</p>			
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイドンス
伝導 RF IEC61000-4-6  放射 RF IEC61000-4-3	3 Vrms 150 kHz～80 MHz  3 V/m 80 MHz～2.5 GHz	非適用  3 V/m	<p>携帯形及び移動形RF 通信機器は、非接触赤外線体温計 900のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算された推奨分離距離より近づけて使用しないことが望ましい。</p> <p><math>d=1.2\sqrt{P}</math> 80 MHz～800 MHz  <math>d=2.3\sqrt{P}</math> 800 MHz～2.5 GHz</p> <p>ここでPは、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大出力電力定格であり、dはメートル (m) で表した推奨分離距離である。電磁界の現地調査aによって決定する固定RF 送信機からの電界強度は、各周波数範囲における適合レベルよりも低いことが望ましい。次の記号が表示されている機器の近傍では、干渉が生じることがある。</p> 
<p>備考1 80 MHz及び800 MHzにおいては、高い周波数範囲を適用する。                      備考2 これらのガイドンスはすべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収及び反射は電磁波の伝搬に影響する。</p>			
<p>現地調査 a                      例えば無線 (携帯/コードレス) 電話及び陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM-FM ラジオ放送及びTV 放送のような固定送信機からの電界強度を、正確に論理的に予測をすることはできない。固定RF 送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮することが望ましい。                      非接触赤外線体温計 900 が使用される場所の正確な電磁界強度が、適用される RF 適合性で上記のレベルを超過する場合、正常通常動作を検証するために非接触赤外線体温計 900 を監視することが望ましい。異常な作動が発見される場合、追加の手段、例えば、非接触赤外線体温計 900 の向き又は場所を変えることが必要となることがある。</p>			

## 13. 保証

- ▶ 本品の品質保証期間は、ご購入日から1年間です。
- ▶ 保証期間中、本製品の不具合により故障した場合は、無償で修理又は交換致します。
- ▶ 使用者の不注意による破損は、本保証を適用しません。
- ▶ 使用者の改造又は修理による破損や故障は、本保証を適用しません。
- ▶ 修理後の保証期間の延長は致しません。

## 保証書

この度は、お買い求めいただきありがとうございます。本品は厳格な検査を行い高品質を確保しております。しかしながら通常のご使用において万一、不具合が発生しました時は、保証規定によりお買い上げ後、一年間無償修理致します。

製品	非接触赤外線体温計 900	
型番(シリアル番号)	HFS-900 ( )	
お買い上げ年月日*		
販売代理店名*		
顧客情報		
ご芳名:	お電話番号:	
ご住所:		
製造販売業者名 株式会社WEWELL		
住所	東京都中央区日本橋茅場町 2-8-8 共同ビル市場通り	
電話 FAX	03-5623-9388	

\*お買い上げ年月日、販売店名につきましては、販売代理店にて、記入していただいでください。

## 【販売業者、製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

- 販売業者名: 株式会社ケイジェイシー  
東京都品川区北品川1-10-4 Y.B.ビル  
電話 03-5796-9733
- 製造販売業者名: 株式会社WEWELL  
東京都中央区日本橋茅場町 2-8-8  
共同ビル市場通り  
電話 03-5623-9388
- 連絡先: 株式会社ケイジェイシー  
カスタマーセンター  
電話 03-5796-9741
- 製造業者名: HuBDIC Co., Ltd (ヒュービディック)
- 輸入先国: 大韓民国